

# コロナ禍の保育園 理事長 大浦 純平



ここ4ヶ月、コロナ感染拡大という未曾有の状況が続いています。現在まで保護者の方の感染例が若干あるものの、園児・職員の感染は免れています。これから先、どのような事態になるのかは全く予想ができません。

最近、匿名のメールで「このような時なのに開園をするとは何事か」とお叱りを受けました。しかし、保育はエッセンシャルワークと位置付けられ、「人々が日常生活を送る上で欠かさない仕事」とされており、国及び地方公共団体からは出来る限りの開園を要請されています。休園となるのは「園児」や「職員」の感染があった場合、市町村の判断で休園の決定をした時となります。

とは言え、園内でクラスターが発生しては本末転倒です。そのため、登園前の検温、登園時の消毒、保育中の多くの場面での手洗いやうがい等の徹底を心掛けながら保育を実施しています。保育者たちは頑張っています。

勿論、予定していた行事等についても内容を吟味して必要最小限の開催をしたり、止め無く中止したりしています。子どもたちの成長を確認できる良い機会である行事の変更は保育士にとっても辛いものがありますがこの状況では致し方ありません。

……一日も早い収束を心から願うばかりです。



## ホームページ(HP)のリニューアル [www.hojinkai.ed.jp](http://www.hojinkai.ed.jp)

今回、輔仁会のHPが新しくなりました。法人広報委員会の手により、3代目のHPは新技術を駆使した見栄えの良いものができたと思っています。今後、情報発信が充実され、入園や就職の際に広く利用され、保護者の皆さんに園生活の情報を発信できれば良いと考えます。

思い起こせば、1997年(平成9年)にHPが流行の兆しを見せ始めたころ、私が技術的な知識もないまま、資料をかき集めて何とか作って公開したのが第一歩でした。続いて、2005年(平成17年)には「輔仁会三園のHP」として情報を発信するようになりました。

そして、今回のリニューアルで最新のテクノロジーを駆使したHPが誕生したのです。より見やすく、快適に利用できるWEBサイトを目指し、デザイン・構成とも一新しました。また、当法人の考え方をより深くご理解いただけるよう、目指す保育について三園のページで「大切にしていること」として掲載しています。

担当の委員会ではその実践を日々のブログに綴り、さらにインスタグラムを使ってより多くの方に見ていただけるよう情報発信に努めると張り切っています。

手探りで始めてから23年、今回のリニューアルは感慨深いものがあります。

## つばみ保育園年報 第23号

2020年(令和2年)8月24日 発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会  
つばみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

<http://www.hojinkai.ed.jp/tsubomi/>



二〇二〇年二月下旬を境に、当たり前と思っていた日常が一変してしまいました。緊急事態宣言が解除された後に提案された新しい生活様式なるものを見ると、手洗いや消毒は当然ですが、人との距離をとる、会話は真正面を避ける、3密を避けるなどさまざまなルールが定められています。親との間で密接とつづいて関係が絶対に必要であるのと同じく、保育園でも子どもとの間の密接な状況は年齢が低いほど必要であり、現場の職員は懸命に

人々が集って大きな声を出すことを避けようとしていました。うたを聴く、歌うことから始まる音楽の楽しさを

### 「生活様式」に思うこと

統括次長 大浦まゆみ

保育を行っています。また、私が悲しく思うのは保育士が思い切りうたを歌えないことです。

子どもたちに伝えたい美しい声も一丁を聴かせてやりたいのに、マスク越しではかきません。せめて子どもたちだけは、並び方を工夫して、変わらぬ歌ってほしいと思います。この状況の中でも、今までと同様に子どもたちは笑顔を見せ、日々成長しています。希望を持って子どもたちから信頼される保育を続けていきたいと思えます。



## 「コロナ禍と向き合いながら」

園長 小島千枝



二〇二〇年を迎えたときはわずかに数ヶ月後に生活様式が一変するなんて思ってもいませんでした。年明け直後に聞こえてきた新型コロナウイルスの爆発的感染も国外の話だと思っていました。

そして今、保育園は元来の保育業務と感染防止対策の両立に努めています。

小まめに換気することで「密閉」は免れても、「密集」「密接」は保育園では避けられないものです。保護者の方にはもちろんですが、職員たちも少なからず不安を抱きながら、「子ども達に最善の喜びと幸せを」という保育理念のもとで

できる限りのことをしようとそれぞれの任務を果たしています。

この様な状況の中、感染防止対策が困難という理由で多くの行事を中止しなければなりません。た、なんとか実施した行事も人数制限や時間短縮など、とても例年通りとはいきませんでした。

こうして中止や変更を余儀なくされていますが、今までにならぬほど時間をかけて各行事について考え、話し合い、そのねらいや内容について再確認しています。

また、3密を避け消毒を徹底する等の制約がある中でも、「これだけは子どもたちに体験させたい」「楽しい思い出を残してあげたい」と

「期待に応えたい」という職員たちの篤く尊い思いを知る機会にもなり、その思いを形にしていこう過程は、私を前向きな気持ちにさせてくれました。

今後、新たな問題に直面しても、行政の指導の下、父母の会の皆様と協力し、職員間で話し合いながら一つ一つ乗り越えていく覚悟や勇気を持ってまいりました。

何が起きるか分からない不安な状況はしばらく続くでしょうが、一日も早い収束を願いながら、今日もできることを粛々と誠実に保育園でありたいと思っています。

## たのしい共育

2020年度 父母の会 会長 河島 孝



令和2年度父母の会会長を務めさせていただくことになりました河島孝と申します。平素より皆様には父母の会活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。前年度まで7年間会長を務められた喜多さんをはじめ、OB・OGの皆様の素晴らしい軌跡を引き継いでいけるよう一層の精進を重ね、子どもたちや保育園のために邁進して参ります。

さて、今年度の父母の会のスローガンは「ニコニコ大作戦～やれるときに、やれる人が、やれることをやろう(♡)」です。こんな状況だからこそ、いつも笑顔で過ごしていこう！笑顔で前に突き進もう！そんな想いが込められています。大人が笑顔でいればきっと子どもは安心します。子どもと共に、家庭と共に、仕事と共に、「たのしい共育」を実現させ、歴史に残るこの困難を乗り越えていきたいと思っています。また、今年度の「友愛セール・バ

ザー」は、健康と安全を考慮いたしました結果、やむなく中止とさせていただくこととなりました。ご参加を楽しみにされていた皆様にはご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

先生方におかれましては、経験したことのない事態になっている中で、不安を感じていることと思います。様々な行事の中止を余儀なくされる中、それぞれ一人ひとりと真剣に関わってくださり、深く感謝申し上げます。私たちも、子どもたちが伸び伸び過ごせる環境づくりに取り組んで参ります。

引き続き健康と安全管理へのご協力をお願いする中ではありますが、今後とも皆様のご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

### 今年よりサイズをA3判からA4判に縮小します

ホームページのリニューアルにより各園の発信する情報量も増えたのでコンパクトにすることに致しました。また、年報は従来通りホームページにアップします。

今年度つぼみ保育園では、園庭改造計画「夢の園庭づくり」を進めています。現在園庭の横にある職員駐車場を園庭の拡張範囲とし、どんな園庭にしたいか我々つぼみ保育園職員を4つのグループに分けて、それぞれパワーポイントを駆使し全職員にプレゼンしている段階です。



2000年(平成12年)おやじ山修復中



おやじ山からどんぐり山へ  
(平成15年度卒園児記念制作)

例えば私がつぼみ保育園に来た当初(2000年4月)は、土管にお父さんたちが土をかぶせて固めた「おやじ山」というのがあり、定期的に土を上げ水を撒いてベタベタスコップで叩いていました。それ以前は「トンネル山」(1994年～)と呼ばれていたそうです。そして、2004年には「おやじ山」に代わり「どんぐり山」が園庭にできました。

翌年2005年には40周年記念事業でお父さんたちとログハウスづくりに携わりました。セメントで基礎作りをし、丸太に色を塗って電動ノコギリで裁断し組み立てていった3棟のログハウスは、現在も子どもたちの遊び場と

なっています。当時のお父さんたちと汗を流し、このログハウスを作ったのを今でもよく覚えています。そしてその後、2011年4月に年長組の園舎が新しくなったのに伴い現在の園庭となりました。私が勤務した20年間でつぼみの園庭は色んな風に形を変えていき、その中でたくさんの子どもの子どもたちも巣立っていきました。



左奥に見える駐車場まで拡大予定

そして昨年度末から今年度にかけてこの園庭が新しくなる計画が立ち始めました。しかし、最近までコロナ禍で一時中断となっていました。ようやく緊急事態宣言も解け我々職員も日常マスクの着用や手洗いアルコール消毒の徹底、ソーシャルディスタンスを考慮しながら、ようやく4グループそれぞれのパワーポイント作成までいき、全職員で観て新しい園庭を想像しているところです。

いよいよ自分たちの思いが詰まった園庭改造プロジェクトが始動したという感じですが、今からはこの4グループの思いを一つにまとめ上げていき、子どもたちに最善の喜びを感じてもらえるような夢ある園庭を作っていきたいと職員一同張り切っています。



プレゼンの表題

## 2020年度 職員一覧 (9月1日現在 58名)

園長 小島 千枝

本園	
主任	西村 美香・猿渡 健一
給食主任	岩崎 真樹
事務主任	大浦 理絵
もも組	中北 由里・松崎 征子 越治 和代・小田 晃子 川口 ますみ・秦 祐美 田村 明子・野崎 絵美
うめ組	福岡 夏弥・濱田 麻衣 柴田 彩佳・藤田 実里 大住 萌 清水 淳子・吉田 優性 星野 由起・米村 美智子
さくら組	幾度 良恵・岡 あき穂 富成 真樹子・斎藤 風花 岡崎 久美子・原 真理子 岩永 松枝・大江 典子
すみれ組	木之下 文・光安 佑佳
れんげ組	松本 達則・松本 夏希
つくし組	松島 千華・松本 綺羅星
わらび組	石橋 優希
なずな組	呼子 茄穂・折居 香織
給食員	岩崎 真樹(*)・福島 千春 城戸 奈緒 河津 和美・岡崎 千代 久保 淳子・上田 愛
用務員	岩崎 直子・堤 涼司
【育休中】	石田 美里・宇佐美 敦子
【休職中】	津田 豊子
分園	
分園主任	宮川 京子
保育士	田中 富美子・内田 久子 大塚 菜央・野田 美和子 田中 孝子・阿部 俊子 野中 智子

(\*)は再掲

## 土作りの見直し

新園舎が建て替わった前の二〇〇四年四月に、当時一階の保育室前にあつた花壇で野菜作りを始めました。それから四年後の二〇〇八年二月から、生コンクリートサイクルで元



毎年春の親子歓迎遠足では業者の方にガソリンタイプの発電機を借りていました。今年度はガスボンベタイプで移動用タイプもついた発電機を購入しました。

### 2020年度 父母の会役員

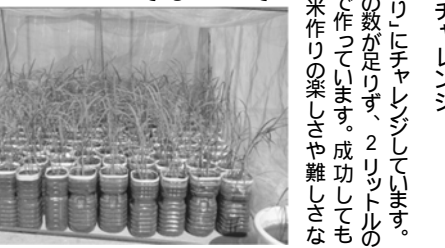
会長 河島 孝 (つくし)

副会長	田川 健司 (つくし)	濱田 泰暢 (れんげ)	渡邊 つくみ (さくら)
会計	上福元 千愛 (わらび)	秦 英敏 (なずな)	山田 暢子 (うめ)
書記	川越 亮治 (さくら)	瀬戸口 早希 (すみれ)	古川 翼 (わらび)
監事	廣重 円香 (わらび)	赤峰 裕子 (もも)	久保 真梨 (もも)
委員	佐久間 陽菜 (うめ)	中河原 健介 (すみれ)	石井 竜之宥 (れんげ)
	讚井 久代 (つくし)	坂戸 雄一 (わらび)	寛 哲弘 (なずな)

保護者駐車場が一部変わりましたが、その土地に家が建ちましたので隣に新しくきたグリーンパークを借りています。グリーンパークに台駐車できる台駐車場の18台に全部で25台駐車できるようにしました。

保護者駐車場が一部変わりましたが、その土地に家が建ちましたので隣に新しくきたグリーンパークを借りています。グリーンパークに台駐車できる台駐車場の18台に全部で25台駐車できるようにしました。

現在稼働中のアイパッド21台に加えて新たにタブレットPC1台、スマートフォン5台増設しました。アイパッドとは使い勝手が若干異なりますが、身近にタブレットが使える環境が整い、各クラス幅広く活用しています。パワーポイント作成もでき園庭づくりのプレゼン作りでも活用されました。



## トピックス

主任保育士 猿渡 健一

### 保護者駐車場の一部変更

保護者駐車場が一部変わりましたが、その土地に家が建ちましたので隣に新しくきたグリーンパークを借りています。

### ICT活用 サーフエスGOの導入

現在稼働中のアイパッド21台に加えて新たにタブレットPC1台、スマートフォン5台増設しました。

気野菜をつくることと取り組み始めた土作り。今でも青組を中心に引継いで行っています。十二年も経つと、いつの間にかやり方が少しずつ変わってしまつたよ。今年度は青組の保育士に栄養士も加わって、改めて土作りのスキルを立ったり、プランターではなくコブテナで土を作るなどの見直しをしました。

機を購入しました。災害時用ですが、色々な所で活用したいです。



### 稲作りにチャレンジ

只今稲作りにチャレンジしています。園ではハゲツの数が足りず、2リットルのペットボトルで作っています。成功しても失敗しても、米作りの楽しさや難しさなどを子どもたちに感じてほしいなと思いつき、食育の一つとして取り組んでいます。現時点では稲穂が少しくつ出てきており、これから害虫の戦いが始まるそうです。